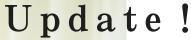
時代が変わった今だから わかることがある。 今だから 見えるものがある。

ブックフェア いま、学びなおしたい性の話 展





性教育にとりくんできた 想いや、そのきっかけは 何ですか?



女性にとって、仕方なく過ごしてきた 調子の悪い時期。

それは生理中だったり生理前だったり 更年期だったり、様々だけど、

自分のからだの仕組みを知ると、起こ る不調についてある程度は納得できた り、対策しようと思ったりするもの。 自分のことなんだから、前向きに知っ てほしい。

それは本来、わざわざ「性教育」って 呼ぶ必要がないくらい大事な、かつべ ーシックな知識だと思ってます。

産婦人科医・医学博士・産業医

高尾 美穂 さん

profile

働く女性の産業医として内閣府男女共同参画局・人事局な どで職員研修を担当。長年ヨガを愛好し、多くのヨガイン ストラクターを指導。

YouTube「高尾美穂からのリアルボイス」では毎日、女性 のお悩みに答え、楽に生きられる考え方を配信している。

Update!

学びのサポートBOOKS





『生理用品の社会史 タブーから一大ビジネスへ』

田中ひかる(著) KADOKAWA 2019年



日本の女性の社会進出を支えた生理用品の進化について知るこ とは、これまで女性にとって「当たり前」とされてきた様々な 状況について、疑問を持ち、どのように変わっていくことが望 ましいかについて考えるきっかけになるかもしれません。



『別冊NHK100分de名著 フェミニズム』

加藤陽子・鴻巣友季子・上間陽子・上野千鶴子(著) NHK出版 2023年



これまで女性がおかれてきた世界的な状況を眺めたとき、女性 にはしたいことをする自由もなければ、されたくないことをさ れない自由もなかった時代があり、この2種類の自由を、21世 紀の日本に生きる私たちが完全に手に入れることが出来ている か、いま一度振り返ってみたい。

(0);3}





『娘と話す、からだ・こころ・性のこと』

高尾美穂(著)朝日新聞出版 2023年



性について、女性の心身の変化や不調について、あらかじめ知 っておきたい事実を、母と娘、同性だから理解し合える、とい う角度のみならず、それぞれが不調を抱える可能性のある別々 の個体である、という観点からも考えてみる機会になることを 願っています。